

平成 10 年度技術開発実施報告書

様式 2-2

| | | | | | |
|----------|-----------------------------------|--|------------------|------|------------------|
| 課題名 | 国土保全林等における人工単層林を天然林に誘導する技術の確立（更新） | | | | |
| 課題区分 | 自主課題 | 開発個所 | 鰐頭国有林 76ち1林小班 | 開発期間 | 平成8年度～ 平成23年度 |
| 当年度別実施計画 | | 当年度実施報告 | | | |
| 1, 植生調査 | | 1, 植生調査 (1)かきおこし区 前年調査と同様アカメガシワ・クサギ・ススキ等が繁茂し有用広葉樹等の発生が見受けられない (2)播種区 イチイガシ・アラカシ・ハナガガシ・コジイの稚樹は確認できなかった (3)ぼう芽, 天然下種更新区 天然更新確認調査法による更新確認には至っていない | | | |
| 2, 実施結果 | | 2, 実施結果 アカメガシワ・クサギ・ススキ等の繁茂により有用広葉樹の発生はますます難しくなっている 今後も経過観察は続けるが、方法を変えた施業も検討する必要がある | | | |

平成 11 年度技術開発実施報告書

様式 2-2

| | | | | | |
|-----------------|------|---|-----------------|------|----------------------|
| 課題名 | | 国土保全林等における人工单層林を天然林に誘導する技術の確立（更新） | | | |
| 課題区分 | 自主課題 | 開発個所 | 鷲頭国有林 76ち林小班 | 開発期間 | 平成8年度 ～ 平成23年度 |
| 当年度別実施報告 | | 当年度実施報告 | | | |
| 1, 植生調査 | | 1, 植生調査 (1)かきおこし区 前年調査と同様アカメガシワ・クサギ・ススキ等が繁茂しているが、アラカシ・キハダ等の有用広葉樹の発生がわづかではあるが確認できた。 (2)播種区 イチイガシ・コジイの稚樹がわづかに確認することができた。 (3)ぼう芽, 天然下種更新区 アラカシ・イスノキ・キハダの実生及びぼう芽を確認できた。 | | | |
| 2, 実施結果 | | 2, 実施結果 アカメガシワ・クサギ・ススキ等の繁茂により有用広葉樹の発生は、ごくわづかしか確認することができない。 今後も経過観察は続けるが、方法を変えた施業も検討する必要がある | | | |

状況記録写真

(様式6)

区分 **自主**

森林技術センター

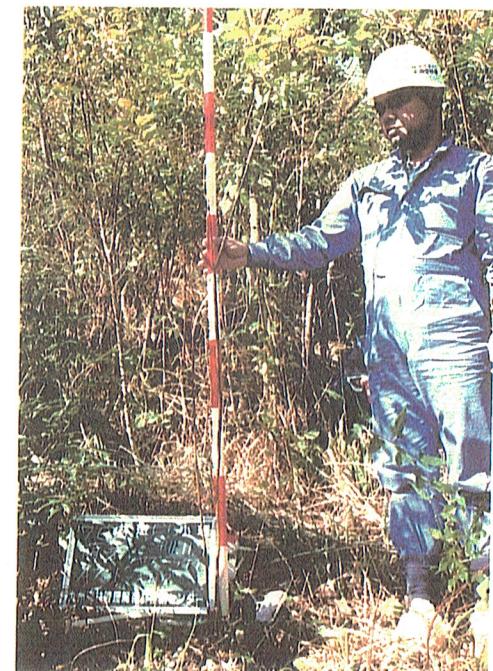


状況記録写真

(様式6)

区分 **自主**

森林技術センター



状況記録写真

(様式6)

区分
自主

森林技術センター

